

和気町議会だより

和気議会NAVI

② 特集 中高生模擬議会

⑥ 9月定例会より ⑧ 質疑と答弁 ⑪ 委員長報告 ⑫ 一般質問

和気町議会

第78号

令和7年
9月定例会





特集

中高生模擬議会 和気町の未来を 真剣質問

中高生の主権者教育を進めるため「中学生・和気閑谷高校生模擬議会」が8月29日（金）に本庁舎議場で開催されました。

一般質問は、1人20分以内、同一項目につき質問回数2回以内を原則に、一問一答方式で行われました。

それでは、
通告順位に
したがって、
1番 金中 蓮叶議員に
質問を許可
します。



み むら ゆう しん
三村 優心 議長（和気閑谷高3年）

03

たけ だ ゆう しん
武田 優伸 議員
(和気閑谷高2年)



和気町の広報を

質問 ①和気町の子育て支援の取り組みを対外的に発信する方法は。

- ②和気町の移住者の現在数、持ち家と借家の比率は。
③移住者の子育て世帯を対象に住民税の減税や、家賃補助を行っては。

答弁 太田町長

- ①オンライン移住相談会を実施し、移住希望者との接点を拡大している。
②単身での転出が397件と大多数をしめ若年層の転出が多い点が課題になっている。若年層をはじめ移住者の定着支援に重点を置いた施策の強化が必要だ。
③住民税の減税や、家賃補助は効果がある。しかし、持続可能な制度設計が必要なことや他の住民との公平性を確保する課題もある。

01

か なか れん と
金中 蓮叶 議員
(和氣中3年)



命に関わる危険な暑さへの対応について

質問 ①熱中症対策に必要な予算の拡充は。

- ②体育館へのエアコン設置計画は。
③武道館の今後の考え方について聞きたい。

答弁 徳永教育長

- ①学校からの要望については学校と協議のうえ対応していく。
②令和7年から8年にかけて、本荘小、和氣小に設置する予定で、和氣中、佐伯中、佐伯小は令和11年度までに整備していく。
③武道館は施設全体が老朽化しており、今後の武道館のあり方について研究していく。

04

たに あや の
谷 綾乃 議員
(和氣中3年)



日笠地区の住民生活に関わる課題

質問 ①日笠地区から和氣中学校に至る道路に、雑草が茂り、ごみや動物の死骸が見られる。また、街灯の間隔が広いと、夜間非常に暗い場所が多く、側溝などの危険箇所が見えにくい状況にある。街灯の増設や視認性を高めるために樹木の剪定など対策を検討してほしい。

- ②旧日笠小学校の利活用について、地区の中高生から勉強場所として提供してほしいとの声も上がっている。今後の具体的な利用計画を聞かせてほしい。

答弁 徳永教育長

- ①草刈り等の要望などは、気が付いたら学校を通じて伝えてほしい。町に報告があり次第対応する。また、動物の死骸やごみを発見した場合は、関係部署が道路管理者と連携を図るので、報告していただきたい。

答弁 今田副町長

- ②令和6年から文部科学省のみんなの廃校プロジェクトに掲載し、幅広く利活用の募集をしている。これまで3件の活用提案があったが、現時点では実現に至っていない。

また、旧日笠小学校配膳室を、ふるさと納税返礼品の水産加工場として利用したいとの申し出があり、庁舎内で検討を進めている。部分的な利用の申し出が多く、空き教室の利用が課題だ。

02

たに ぐち た いち
谷口 太一 議員
(佐伯中3年)



安心・安全なまちづくりと子育て支援について

質問 自転車通学時、木が覆い茂って車の安全確認の妨げになっているところがある。カーブミラーの曇りや舗装など、道路整備と交通安全の啓発に取り組んでもらいたい。

答弁 今田副町長

通学路の安全対策については、通学路安全推進会議において協議を行い安全確認、危険箇所の点検などに取り組んでいる。

質問 子育て支援として学用品の補助はできないか。

答弁 太田町長

和氣町では、生活保護世帯や準要保護世帯を対象とした就学援助制度を設けており、学用品を買う費用などを補助している。また、子育て世帯への支援として、子どもの医療費助成については、他の自治体に先駆けて、18歳までを助成対象とし、さらに本年度から小中学校の給食費についても無償化を実施するなどの支援を行っている。現時点では全ての世帯を対象とした入学時の学用品の補助については、難しいと考えている。

07

すえ とう あ ゆ
末藤 愛夕 議員
(佐伯中3年)

野良猫対策と 町のPRについて

質問 野良猫の被害が多い。エサだけ与えて放置している家庭に呼びかけてもらえないか。

答弁 太田町長
NPO団体と協力して野良猫の不妊去勢手術を行い、地域猫として管理してもらっている。飼い猫は責任をもって飼うことが重要。関係団体と連携し、被害の軽減に努めていく。

質問 町のPRとして、「和気駅北側商店街の活性化」「自然を活かした田んぼアート」「YouTubeの縦動画やTikTokの活用」を提案したい。

答弁 太田町長
複数の大学と連携して、駅前活用のフィールドワークを実施している。また、地域の方と和気閑谷高校生でイルミネーションを設置してイベントをしている。まちづくりに多くの方が参加する取り組みを進めていく。和気町PR大使の「見取り図」リリーさんに、観光施設紹介の動画に出演してもらったり、インフルエンサーに動画を投稿してもらったりしている。今後も若年層を対象とした情報発信を強化する。



05

あお え ま こ
青江 真瑚 議員
(和気閑谷高2年)

防災意識を向上させる ためのイベントなどを 開催できないか

質問 南海地震の発生確率は、今後30年以内で70%から80%と言われている。起震車を呼ぶなど、住民の防災意識を向上させるためのイベント開催ができないか。

答弁 太田町長
今後、町主催のイベントへの防災ブースの出展や、岡山県などと協力し、起震車体験なども行いながら、防災意識を高められるよう研修会も企画したいと考えている。

質問 町民の防災イベント参加率を上げるための対策は。

答弁 太田町長
「しらせあい」アプリ、町のホームページや広報誌などで情報発信を行っているが、今後はさらに「キントーン※」を使うなど、新しい伝達手段を活用しながら、町民にイベント開催なども広く周知できるよう努めていきたい。

※キントーン 業務アプリが作れるツール



08

お の づ か
小野塚 かなえ 議員
(和気閑谷高3年)

障害者福祉政策の 今後について

質問 「和気町障がい者活躍推進計画」が昨年度末で終了しているが、新たな取り組みは行っているか。就労継続支援A型事業所が1か所しかなく、送迎がない。施設を増やす予定はあるか。

答弁 太田町長
本計画は、今年3月に、2030年3月末までの5年計画を策定した。障がいのある方が一層安心して働き、能力を発揮できる職場作りの推進、誰もが尊重される社会の実現に貢献していきたい。A型施設については、今後も利用者の増加が見込まれることから、事業所の確保とサービス体制の整備を目指すこととしている。

質問 いくつかの自治体で、週20時間未満、最短15分程度からの就労が可能な、超短時間雇用モデルが導入されている。和気町での導入は検討しているか。

答弁 太田町長
民間事業所が設置していくのであれば、町としても支援をしていきたい。



06

もり も と り お な
森本 梨央奈 議員
(和気中3年)

中高生の 健全な居場所の創設と 山林火災の予防について

質問 ①中高生のための居場所の創設については。②野焼きや火入れ規制の指導、注意喚起の現状と今後の火災予防対策は。

答弁 徳永教育長
①中央公民館で中高生を中心に自由に利用できる自習室の提供に取り組んでいる。サエスタ、藤野児童館、和気図書館などでも利用できる。今後も公共施設をより居心地の良い場所となるよう取り組んでいきたい。

答弁 今田副町長
②山林火災は、未然防止と初期消火が極めて重要。東備消防署、消防団と連携して、消化活動を行う。規模によっては、岡山県へ消防防災ヘリコプターの出動要請を行う。野焼きを行う際は事前に東備消防署へ連絡するよう、町の告知放送システム「しらせあい」などにより周知をしている。火入れを行う場合には、事前に町の許可が必要だ。火災予防は、住民の火の取り扱いに関する意識の向上が極めて重要と考える。



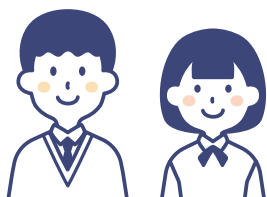


参加学生【写真左から】 青江 真瑚さん(和気閑谷高2年)、小野塚 かなえさん(和気閑谷高3年)、三村 優心さん(和気閑谷高3年)、森本 梨央奈さん(和気中3年)、武田 優伸さん(和気閑谷高2年)、谷 綾乃さん(和気中3年)、末藤 愛夕さん(佐伯中3年)、谷口 太一さん(佐伯中3年)、金中 蓮叶さん(和気中3年)

模擬議会を終えて

中高生議員

- 自分たちの意見や思いを伝えることは貴重な経験になった。
- 和気町に住んでいるのに知らなかった政策がたくさんあった。
- 普段問題や疑問があっても直接意見を言う機会がなかったのでとても良い経験になった。
- 議会では何をしているのか気になっていたが、参加したことで関心が少し高くなった。
- 他の視点からもっと質問してみたいと思った。



保護者

- 親としても地域に関わりながら成長していく姿を頼もしく感じた。
- 毎年、通学路についての議題があるのでインフラ整備などはしっかり行ってほしい。
- 自分の身近な問題や要望を議会で発表したことで、町への愛着がさらに深まる機会となった。
- 町外へ出たとしても、学びや経験を積んで、お世話になった故郷へ何か恩返しができるような大人になってほしい。
- 自分たちに関係する支援について知ることが、政治への関心へとつながっていくように思う。
- 自分たちの意見を持つこと、相手に伝えることの大切さを感じる機会となった。





9月 議会定例会

令和7年9月3日～19日

● 令和6年度 決算認定について

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を認定しました。

条例制定

● 和気町しゅんせつ残土等処分場設置条例の制定について

日笠上地内に整備している残土処分場の設置に伴い条例を整備しました。

補正予算

● 令和7年度和気町一般会計補正予算(第3号)について

産業振興施設の関連予算が
可決されました。

- 土地鑑定委託料 28.6万円
- 実施設計委託料 4,750万円
- 土地購入費 822.5万円



建設予定地

当該予算は厚生産業常任委員会に付託され審査した結果、産業振興施設の予算を削除した修正案が可決され、委員会修正案として本会議に報告されました。

本会議では、原案に賛成、修正案に賛成する議員が討論を行い、賛成多数で原案が可決されました。

議 案 等 の 名 称	賛否の状況									
	山野 英里	山田 浩子	我澤 隆司	從野 勝	神崎 良一	山本 稔	居樹 豊	山本 泰正	西中 純一	当瀬 万享
令和7年度 和気町一般会計補正予算 (第3号)(厚生産業常任委員会修正案)	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○
令和7年度 和気町一般会計補正予算 (第3号)(原案)	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×

産業振興施設(岩戸区)の関連予算に対する討論

賛 成

神崎 良一 議員

この産業振興施設は、3月議会に提案された内容から大きく次のように変わった。

- ・お年寄りや配慮を必要とする人たちに配慮したバリアフリーを施した建物となる。
- ・キッチンカーのスペースを確保し、起業家に対する支援を構築する。
- ・設計にあたっては広く町民の意見を取り入れ工夫し、町民参加型事業として展開する。

隣接する旧山田小学校を利用した『好適環境水をういた陸上養殖』の導入は話題性と考えられ、和気町の地方創生へ向けた揺るがない終始一貫した考えが見られた。

太田町長からの前向きな答弁に、今後の和気町発展に町長の強い信念を感じ、本事業の成功が期待できると感じたため、原案に賛成するものである。

西中 純一 議員

この事業は佐伯地域の振興のために当時の大森町長が今から7～8年前に提案された案件だった。この計画の推進で佐伯そして山田地域の課題解決や産業文化的な交流にも貢献することができ、和気町全体の振興にも期待される。

この地域はもともと旧山田小学校があり山田地区の中心地であり天神山城の城跡があり、川の反対側にはB&Gの研修センターもあり、川沿いには桜があり、4月には桜が咲き乱れ風光明媚なところである。

町執行部から山田小学校の廃校後の地域振興策として農産物直売所のようなものを作ってみたらという提案があり、各地の道の駅などを視察した結果、住民の方もぜひやってみたくてスタートした事業である。

和気町振興の新しい流れをもう一度呼び起こして、前向きにやっていきたい事業と考える。また、国の交付金が4月に交付決定されているので、予算が可決されなければ、今後の町政に悪い影響が出てくると考えられる。

以上の理由により原案に賛成するものである。

反 対

我澤 隆司 議員

3月議会でも否決された案件だが、今回の構想案は全く進展がない。相変わらずテナント頼みの案だ。この地域に産業振興施設ができること自体、内容さえ優れていれば反対はしない。しかし、現状案は5億円かけて作るに値しないと考える。5億円税金を使うなら、山田地区のみならず町民みんなが納得し、町民が夢を持てる持続可能な施設を目指さなければならない。

交通量調査も令和3年のもので、人口減少予測や美作岡山道路の開通も加味されていないお粗末なものだ。そもそも通りがかりの人を狙ってのコンセプトでは、交通量の少ない山田地区のようなロケーションでは成り立たない。目的地となる内容を考えなくてはならない。それでこそ山田地区の活性化策となると考える。

成功の一つのポイントは、地元の生産者などの熱意が必要だが、執行部はそのあたりをもっと掘り起こすべきだ。

国道からの進入路についての懸念もある。和気方面から左カーブの途中で右折しての入口の設置は、片鉄口マン街道をまたいで侵入する事故の起こりやすい構造になっている。岡山県、国土交通省や警察の許可は未確認と聞いている。そのような状態で進めて良いのか。

ここにきて、包括連携協定を結んでいる大学との事業の一体開発の話にもなっているが、今回上程された議案には入っていないので、判断しようがない。審議内容が、全員協議会で提案されたものから全体像が大きく変わった話になっているにも関わらず、全体像の図面さえ示されていない。一部国の予算が付いたので進める。内容はこれからどうにでもなるというやり方は、行政の進め方としてはいかがなものか。町民に説明して理解を求めるのは大変難しい。

山田 浩子 議員

建設そのものに反対しているわけではない。しかし、3つの理由から修正案に賛成する。

- ①「何か目玉が必要」「赤字施設をまた作るのか」といった意見もある中、この事業自体を知らない方が何人もいた。住民への説明責任が果たされていない。将来的にトラブルや不信を招き、禍根を残すのではないか。
- ②テナントも決まらず、コンセプトもはっきりしない。町長が「今回の予算が認められるなら、旧山田小学校を活用する事業を同時進行で進める」と発言したが、その事業について明確な説明はなく、構想段階の話にすぎない。施設の中身が固まらないまま予算だけが先行するのは、公共事業として非常に無責任ではないか。
- ③3月議会でも予算が削除されたにもかかわらず、同じ内容で実施設計の予算を提出する、これは議会の判断が軽視されていると受け取られかねない。「一度否決されても、しばらくたてば同じ内容で通せる」という前例になりかねない。

以上の理由から、一度立ち止まり、住民の声に耳を傾け、議会の議論を真摯に受け止め、計画を見直す必要があるのではないかと考える。

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



令和6年度和気町一般会計
歳入歳出決算認定

ふるさと納税の使途は

山本 稔 議員

Q ふるさと納税の使途、内訳は。

A 清水 まち 経営課長

納税者の希

望使途は、指定
なしが46%、教
育子育てが30%
まちづくりが
13%など。実際
に使っているの
は一般会計全
般である。



農地流動化促進助成金とは

山野 英里 議員

Q 農業経営基盤強化促進対策事業
費の農地流動化促進助成金は、農地
を有効利用するために、農地を借り
る方へ助成金が出る事業なのか。対象
者が27名いるが地域分布は。

A 岡 産業振興課長

農地の賃借を促進するために、利用
権の設定により借り受けた農業者を
支援する助成金を交付する。期間は
3年間、6年間、10年間で、初年度に
支給する。
対象者の地域は限定したものでは
なく、町内全体で契約が進んでいる。

地域公共交通の不用額の
理由は

我澤 隆司 議員

Q なぜ地域公共交通1351万
2520円の不用額が出たのか。

せっかく取った予算なので、地域
交通で困っている方も多いので、有効
活用を願いたい。

A 則枝 総務部長

バスの運転手の報酬だが、全てが会
計年度任用職員で、年度末に向けての
職員報酬額の決算額の見込みが立ち
づらい。どうしても人件費の報酬、職員
手当、共済費等が不用額として上がっ
てくるケースがある。3月の補正で精
査を行い不用額が少なくなるよう
検討したい。



人権啓発推進費の
不用額の理由は

西中 純一 議員

Q 人権啓発推進費の旅費が毎年
200万円使っていたように思うが、
今回45万円ぐらい不用額が出てい
るがなぜか。

A 則枝 総務部長

今回は全国人権同和教育研究大
会が近隣で行われたため、例年より
旅費が安くて不用額が出たという
ことである。

放課後児童クラブの充実を

從野 勝 議員

Q 小学生505人のうち、毎日132
人が利用している状況だがその要因
は何か。また、もっと利用者の拡充を
図るべきではないか。

A 寺尾 介 福祉課長

核家族が増えていることも、利用者
が増加している要因だと考えている。施
設の大きさ等の課題もあるのですっか
り検討し、利用できるような体制づ
くりを考えていきたい。



企業立地促進奨励金はいつまでか

居樹豊 議員

Q 岡山和気ヤクルト工場などへの奨励金783万円の内容は。

A 清水 まち経営課長

企業立地促進奨励金については、水道助成が1件、雇用助成として1件交付しており、水道助成は平成27年度から令和11年度まで、雇用助成は令和8年度までとなっている。

監査委員の意見をどう受け止めるのか

山田 浩子 議員

Q 監査委員の意見として、財務事務の適正な執行が徹底されていないとの指摘があるが、町としてどのように受け止め、改善していこうと思っているのか。

A 則枝 総務部長

支払いの遅延、振込口座の相違など、様々な不備があった。会計事務、決裁事務の適正な執行について、担当者に確認を行うとともに、職員の研修を行い、再度事務の徹底をしていく。

令和6年度和気町簡易水道事業会計決算認定

どうする今後の水道料金

居樹豊 議員

Q 物価高騰の中で水道料金はどうなるのか。また、一般会計からの繰り出しなどによる公共料金の抑制の考えは。

A 柚本 上下水道課長

町内の中心市街地に供給している上水道事業会計については黒字になっているが、簡易水道事業会計については供給単価が給水原価を上回っており収益が見込めない状態であり、今後も適正料金について検討していく。



令和6年度和気町下水道事業会計決算認定

雨水出水浸水想定区域図の今後の活用は

山野 英里 議員

Q 浸水想定調査、基礎調査を基に浸水想定区域図を策定しているが、局所的に大雨が降ることが多くなり、防災の観点からも重要になってくる項目だ。今後どのように活用していくのか。

A 柚本 上下水道課長

雨水出水浸水想定区域図は、令和6年度に完成している。雨水処理に関わる区域の浸水想定区域図であり、浸水しそうな場所を表した地図だ。今後、防災のハザードマップなどに紐づけを行い、町民の方に分かりやすく公表したい。



和気町しゅんせつ残土等処分場設置条例

残土を利用するときの料金は

西中 純一 議員

Q 残土処分場の使用料金を1㎡あたり2200円徴収するということだが、それを利用するときの料金はどうか。

A 西本 産業建設部長

持ち出すときはあくまでも町の公共事業に使うので料金設定はない。外部に売ることはない。



残土処分場



令和7年度和気町一般会計 補正予算(第3号)

有線LANにする理由は

西中純一議員

Q 情報通信網整備工事は、にこにこ園の有線LANから有線LANにする内容だが、変更理由は何か。

A 新田教育次長

当初、無線LANで予定していたがLGWAN(総合行政ネットワーク)での有線LANとなった。理由としてはセキュリティの問題があり、有線LANに変更した。

子どもたちの海外派遣
オーストラリアから上海への
変更理由は

我澤隆司議員

Q 8月に中高生がオーストラリアに行く予定を上海に振り替えた経緯は。

A 清水 まち経営課長

本年8月に和気町内の中高生6名のオーストラリアへの派遣を予定していたが、受け入れ体制等の理由もあり困難になった。昨年来、上海市嘉定区か

ら派遣交流を再開したいという要望があり、今年度には中高生の派遣を実施する予定だ。

物品購入契約の締結

更新後の予備機は十分なのか

山野英里議員

Q 4718万210円をかけて、中学校の1人1台端末の更新ということだが、購入台数と1台当たりの単価は現在使用している端末の故障が多いと聞いているが、更新に伴う予備機の台数はどれぐらい用意するのか。

A 新田教育次長

町全体で予備機を含めて863台を予定している。単価は1台あたり5万4670円。

予備機は国の決まりで15%という制約があるので、112台。

共同調達で整備をする。昨年度は約60台の故障が発生している。



ご自宅で、外出先で、議会の様子がわかります！

和気町議会 YouTube

チャンネル登録お願いします！

＼ ライブ中継も！ ／ ＼ 録画も！ ／ ＼ 24時間いつでも！ ／

動画投稿サイト
YouTube
(ユーチューブ)

<https://www.youtube.com/>

和気町 議会

検索

スマートフォン・タブレットの方
(アンドロイド・iPhone/iPad 共通)

右のQRコードを読み取ってください。
和気町議会のYouTubeチャンネルに移動します。



＼とっても簡単♪／



委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と
1つの特別委員会があり、
付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教常任委員会

委員長 居樹 豊

本委員会に付託されました議案8件について、慎重に審査した結果、すべて全会一致で認定、可決されました。

なお、審査の過程において議案第59号令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について、不納欠損の状況はどうなっているのかとの質疑があり、亡くなった方、行方不明の方など明らかに債権の収納ができない状態であると答弁がありました。

次に議案第64号令和6年度住宅新築資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について、収納状況に関する質疑があり、現在毎月分納で返済しており今後も計画的に収めていただくとの答弁がありました。

次に議案第75号和気町社会教育委員条例の一部を改正する条例について、今回の条例会改正の内容はどのようなことかの質疑があり、条例の根拠となっているスポーツ基本法の改正に伴い、関係条文を改正するものであると答弁がありました。

次に議案第77号令和7年度一般会計補正予算(第3号)について、にこにこ園の情報通信網整備工事内容の質疑があり、当初はWi-Fi無線で予定していたが、LGWAN(総合行政ネットワーク)を利用し、セキュリティ性の高いものに変更すると答弁がありました。

また、長期欠席不登校システム化事業委託費の内容についての質疑があり、登校しづらい状況が見え始めた児童や長期欠席不登校傾向にある児童に対する登校支援員を配置する事業であると答弁がありました。

次に、議案第87号物品購入契約締結について、端末機の故障が多いと聞いているが、予備端末で十分足りているのかとの質疑があり、120台の予備端末で対応可能であるとの答弁がありました。

また、端末更新に伴う随意契約の理由はとの質疑があり、国庫補助事業の要件にもなっており、今回、岡山県全体で共同調達をするものであるとの答弁がありました。

厚生産業常任委員会

委員長 山本 稔

本委員会に付託されました議案のうち決算に対する議案11件は、すべて全会一致で認定されました。

審査の過程で、生産物売り払い収入の減収、タクシー利用助成金の対象者と売上金の差額、出産祝い金の内訳、地球温暖化対策補助金は何処に出しているか、人・農地プラン交付金の内訳はとの質問があり、生産物売り払い収入は生産物の出来が悪かったため減収となった、タクシー利用補助金の対象者は把握していない、売上金との差額はタクシーチケットを買ったが使っていないものと思われる、出産祝い金は第1子が13人、第2子が19人、第3子以降が10人となっている、地球温暖化対策補助金は和気町環境保全事業推進協議会という団体に出している、人・農地プラン交付金は令和7年中が2名、令和8年中が6名であるとの答弁がありました。

また、総務費の不用額の多さが目立つので不用額が出ないように

調整するようにとの意見がありました。

次に決算以外の議案については議案第77号以外の9議案は全会一致で原案可決です。

議案第77号については委員より修正案が提出され賛成多数で議案は可決されました。

修正案提出者の意見は、3月議会に出てきた内容と大きく変わったところもなく交通量の調査も令和3年のもので予測の台数になっていない。産業振興施設であるなら本当に産業振興できる施設にして町民の方が納得できる施設にしてほしい、という内容で、修正案に反対の立場からは、平成29年に請願が採択されており、その流れを汲んで出てきている議案で、4月1日付けで国の補助金も付いている、地区の状況を加味して修正案に反対であるとの意見がありました。

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

委員長 西中 純一

本委員会に付託されました議案59号令和6年度和気町一般会計歳入歳出決算認定、議案66号令和6年度和気町和気鵜飼谷温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について、審査の結果全会一致で原案認定されました。

審査の過程で、実質単年度収支から工事費、修繕費を除くとどれぐらいの赤字になるかという質疑に対し、工事費を除くと約3,000万円の赤字であるとの答弁がありました。

また、雑入について、昨年と比較して100万円ほど増額となっている理由はとの質疑に対し、湯湯ポンプ工事に伴う湯湯管の売却代金が計上されているとの答弁がありました。

また、議案84号令和7年度和気町和気鵜飼谷温泉事業特別会計補正予算(第2号)について特に質疑もなく全会一致で原案可決されました。

また、支配人より本年11月1日が和気鵜飼谷温泉開業30周年なので、キャンペーンを検討しているとの報告がありました。



ズバリ!
ここが気になる!

一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

9月議会定例会では7人の議員が質問しました。



PAGE
13

山野 英里議員

- 教育の町として町全体を「学びラボ」へ
- 学校給食における牛乳は時代に則しているのか

PAGE
14

居樹 豊議員

- どうする防災重点農業用ため池の地震対策
- なんとかならぬか和気町武道館
- どうする和気駅前駐車場の整備

PAGE
15

我澤 隆司議員

- 認可地縁団体の活用、移行促進でまちづくりを
- 合計特殊出生率県内最下位をどう考えるか
- DX推進室の設置を機に役場をどのように改革していくのか

PAGE
16

山田 浩子議員

- 無痛分娩の助成を
- 健康増進のための取り組みは
- 関係人口拡大のための取り組み強化を

PAGE
17

山本 稔議員

- 今後の農業用水濁水対策は
- 貸し出し用草刈り機の使用方法和整備は
- Uターンを増やすための対策は

PAGE
18

神崎 良一議員

- 『好適環境水』の推進を
- 『アクアポニックス』の推進を

PAGE
19

西中 純一議員

- 教育費助成の強化を
- 町内の企業誘致を急ぐべきでは



教育の町として 町全体を「学びラボ」へ

A

先行事例を研究し、 生涯学習を推進する

動画はこちら



山野英里 議員



Q 自分らしい学び方を学ぶために、町全体で学びを支えることが重要だ。

旧山田小学校は廃校になっているが、今も地域の住民や子ども達からも愛される場所だ。産業振興施設は、平成29年に請願が出され、全会一致で採択された。

請願を出された方々と、採択した議員の想いを踏まえて、実現できるように努力をした。何かコンセプトを持って近隣施設とつながりを持ったものとして考えられないか。大学や企業と協力していき、次世代を見据えた学べる拠点となる。旧山田小学校周辺から教育のまちとして改革できないか。

A 森元 社会教育課長

旧山田小学校と教育のまちを結びつける取り組みは現在検討していないが、今後も研究しながら様々な形で児童生徒と地域をつなぎ、町全体として学びが醸成される気運をつくっていきたい。



町内には学べる場所がいっぱいある

Q 担当の部署だけでなく、多くの部署が関係するプロジェクトも考えられる。目的を明確にして、部署を超えたメンバーで協力することはできないのか。

A 則枝 総務部長

町民の学びの場に関することは、教育委員会だけでなく全てのセクションに係るものだ。教育のまち和気のさらなる進展に向けて、町長部局と教育委員会、または部内、課内を横断的に取り組める職場環境と、産、官、学と連携した遊休施設の活用も視野に入れた取り組みへのパイプ役として調整していく。部署を超えた体制づくりに努めていく。

Q 北海道安平町では町独自の教育手法として「あびら教育プラン」を掲げている。幼い頃から始まり、4つの事業を通じて、学びから挑戦とつながっている。学びを自己責任で済ませるのではなくて、学びを自分のものにするまで社会で支えていく必要がある。町内全体を「学びラボ」として、さらなる発展ができないのか。

A 徳永 教育長

地域と連携を図りながら地域の教育力を生かした事業展開が必要だ。構想を練りながら生涯学習を進めていく。

Q ビジョンが明確になれば、想いを形にすることができないのではないか。町の未来を見据えたビジョンは。

A 太田 町長

町民が安らぎと潤いのある人生を送れるよう、様々な場の設定や学習機会の創出が課題だ。先行事例を研究しながら、今後の生涯学習の推進に取り組む。

学校給食における牛乳は時代に則しているのか

Q 牛乳は子ども達の成長を促す上で重要なものだ。一方、牛乳が飲めない、飲みたくないという声が多くある。

① 様々な理由で牛乳を飲んでない子は、必要な栄養を十分に摂取できていないのでは。給食における牛乳の役割と給食費に占める割合は。

② 大阪府の泉大津市では、牛乳を出さない給食の日を設けている。牛乳以外の食材で給食における必要な栄養素を摂取する事例もある。物価高騰、価値観の多様性に伴い、牛乳を柔軟に活用できないのか。

A 嶋村 学校教育課長

① 給食における牛乳の役割は、適切な栄養の摂取による健康の保持、増進を図ることだ。給食費における牛乳費が占める割合は約2割。

② 牛乳と同程度のカルシウムを摂取できる別の食品を取り入れることは極めて困難だ。現在のところ、牛乳を柔軟に活用することは考えていない。しかし、魅力があり、栄養の充実した学校給食の提供は重要なことだ。





どうする防災重点 農業用ため池の地震対策

A

県との 連携強化を図る

動画はこちら



Q 地球温暖化など異常気象により各地で豪雨災害が頻発している。本町には、多くのため池があり想定される南海トラフ地震による災害リスクの対応は万全か。

A 西本 産業建設部長

- ①防災重点農業用ため池については、県が委託する専門業者による劣化状況、豪雨耐性等の評価を実施し県と町で役割分担を行いハード対策を実施している。
- ②貯水量の多い大規模防災ため池については、本年度緊急度が最も高い長谷池の全面改修を行っている。
- ③通常点検による「ため池管理者」などによる出水期前の目視点検と、地元区長の要請により現地確認を随時行っている。なお、ため池の状況は変化していくので、今後も県の計画に基づき適正管理に努める。
- ④県の調査結果による管理計画に基づき整備していく必要がある。



全面改修中の長谷池

A 太田 町長

本町は233か所のため池があり、その内78か所が防災重点農業用ため池となっている。今後とも点検強化に努め町民の生命、財産を守るため県へも強く要望していく。

なんとかならぬか和気町武道館

A 森元 社会教育課長

武道館は、昭和49年度に建築され、50年経過し近年は応急修繕をすることが重なり、屋上防水修繕、漏水工事などを行ってきた。

また、利用団体からも暑さ対策についての要望もあり、今年6月に応急的な対応として冷風機を設置しており、非常に老朽化が進んでいる。専門家に相談し確認したところ、建て替えも含めて検討しなければならぬ時期になっていると認識している。

A 徳永 教育長

中学校では、武道が必須となっており、社会スポーツ活動のみならず学校教育にも使われる重要施設であるので、早急に対応を図るよう尽力する。



老朽化が著しい町武道館

Q 本町の武道館は、和気中学校の屋内体育施設として使用されているが、建物、設備も相当老朽化しており、先般の町政懇談会などでも指摘があった。今後どのように考えているのか伺いたい。

どうする和気駅前駐車場の整備

Q 駅前駐車場の路面状況や駐車枠表示も見えにくくなっているので、利用者にも配慮し早急に修繕対応する考えはないか。

A 今田副町長

今後の整備については、和気駅エレベーター設置後の状況を注視しながら、必要に応じ検討する。

居樹
豊
議員





認可地縁団体の活用、 移行促進でまちづくりを

A

持続可能な
社会のため、移行
促進に努めたい

動画はこちら



我澤
隆司
議員



Q

① 区の活性化策として、認可地縁団体※の活用、移行促進はできないか。

② 51の区と9つのまちづくり協議会について、移行は可能か。

③ 移行のメリットとデメリットは。

A 則枝 総務部長

① 認可を受けるための必要経費3分の2に相当する額を助成する予算を計上し、移行促進に努めている。

② 和気町には27の認可地縁団体がある。区の単位では21の区が認可地縁団体。残り30の区も認可地縁団体に移行は可能。まちづくり協議会の移行については調査、研究する必要がある。

③ メリットは、不動産を団体、区名義で登記でき、財産の安定化が図られる。令和3年の法改正により、収益事業の取り組みも可能になった。例えば、区内で交通機関を運行するなどの事業への取り組みにも可能性がある。デメリットは、事務負担が増加する。

※認可地縁団体
一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体。

合計特殊出生率県内最下位をどう考えるか

Q 合計特殊出生率1.17は県内27自治体で最も低かった。分析と対策は。

A 清水 まち経営課長

全国値の1.33、岡山県の値1.46を大きく下回った。

原因は、未婚女性や結婚による女性の転出が多いため、女性有配偶率の低下により、出生率に影響が出ていると分析をしている。有配偶出生率は和気町で生まれた人数をカウントするので、子どもがいる世帯の転入があった場合は、合計特殊出生率が低下する。積極的な移住施策の影響もあると考える。

少子化対策及び若者定住の促進について、同窓会補助金の創設や岡山県のバックアップ事業に参画するなど施策の検討を進めている。

A 太田 町長

県が出した資料を見て強い危機感を持った。今後は、若い世代が一度は県外に出たとしても、再び戻って安心して子育てができるよう、環境を整えたい。

合計特殊出生率

1.17
(ベース推定値 1.32)

人口置換水準
2.07
2.07との差
(-0.90)

DX推進室の設置を機に 役場をどのように改革していくのか

Q オフィス環境が大きく変わる中で、建設後40年が経過した本庁舎内は、レイアウト変更もなされていない。町民目線と職員の働き方改革の観点からどう考えるのか。



建設後40年。リノベーションが必要ではないか。

A 海野 財政課長

DX推進室は、令和7年4月、新たに設置した。町民目線に立った便利で分かりやすいサービスの実現を目指し、役場全体のデジタル改革を推進する。

本庁舎のレイアウトが長らく変更されていない現状は、職員の生産性向上や住民サービスにおいて、改善すべき点である。財政状況等を考え、まずはペーパーレス化を加速させ、庁舎内の無線LAN整備、電子決済システムの導入など、時間や場所に縛られない働き方を推進する。



無痛分娩の助成を

A

国や県の動向を見ながら今後対応する

動画はこちら



山田 浩子 議員



Q 無痛分娩※は通常の出産費用＋10～20万円ほどかかる。少子化対策として、費用を気にせず、出産方法を選ぶことができるように助成をしてはどうか。

A 寺尾 介護福祉課長

出産時の痛みや恐怖感で出産をためらうことが、少子化が進む1つの要因と考えている。無痛分娩への助成は、妊婦の心身、経済的負担を軽減する施策として有益である。助成制度の創設を県に要望している。

Q 町独自でやっていくという考えはないか。

A 寺尾 介護福祉課長

現時点では導入できる状況ではない。

A 太田 町長

財政支援の必要性を県に要望している。国や県の動向を見ながら対応していきたい。

※無痛分娩

麻酔を使用して出産の痛みを和らげる出産方法。産後の体力の回復も早い。

健康増進のための取り組みは

Q わくわく健康ポイントのDX化は。

A 松田 民生福祉部長

健康づくり推進のため、健康ポイント事業を行ってきた。手作業でのポイント加算、紙による管理など、煩雑な面があることが課題である。DX化により、さらに参加しやすく管理しやすい制度に移行していくことは、大変有効であると考えている。安心して利用できる仕組みづくりを進めていきたい。

Q 啓発コーナーの充実や、役場などのライトアップを考えては。

A 松田 民生福祉部長

乳がん啓発月間ではピンク色のストラップ、児童虐待防止推進月間ではオレンジ色のストラップを担当職員が着用して啓発に努めてきた。健康づくりの啓発にも取り組んでいきたい。引き続き関係機関と連携しながら啓発に努めていく。ライトアップは啓発効果や費用面など勘案する必要があるため、しばらく様子を見ていきたい。



啓発コーナーのさらなる充実を

関係人口拡大のための取り組み強化を

Q ファンクラブの取り組みが、まさに関係人口創出につながっている。国が今年6月に閣議決定した「ふるさと住民登録制度※」を見据えて、さらなる取り組みの強化が必要だと考える。

A 清水 まち経営課長

ファンクラブを関係人口施策の基盤として運営しており、会員数は2000人超である。この制度は、人口減少社会における地域の持続可能性を支える、重要な施策であると認識している。制度が具体化された時に、スムーズに移行できるように準備をしていきたい。

Q 担当している地域おこし協力隊のノウハウを引き継ぎながら、関係人口創出に重点的に関わる人材確保も必要ではないか。

A 清水 まち経営課長

協力隊には任期がある。協力隊に代わる人材配置などを検討し、途切れないように対応していく。

※ふるさと住民登録制度

関係人口に着目し、住所地以外の地域に継続的に関わる人を登録できる。定住人口に代わる地域の担い手を拡大し、地域経済活性化を図るもの。



バラ祭りでのコスプレイベント



にゃんこ太郎



今後の農業用水渇水対策は



迅速な支援
体制に努める

動画はこちら



山本
稔
議員



Q 今年の和気町の渇水状況はどうであったか。また、これまでの渇水対策はどうしていたのか。今後の対応、対策はどうするのか。

A 岡 産業振興課長

今年7月から8月にかけて、和気地域の4つ、佐伯地域の2つの地域から渇水の相談があり、ため池の貯水量など現地確認し、状況把握に努めたが、8月上旬に降雨があり危機的な状況には至らなかった。平成6年に大規模な渇水が発生しており、その際は国のポンプ貸し出し事業を活用している。今後水利権の問題もあり事前の協議が必要で関係機関と連携し、すぐ対応できる体制の整備が必要と考えている。

Q 渇水対策にあたり補助金はないか。

A 岡 産業振興課長

燃料費などについては国の補助事業で対応できると確認している。



中四国農政局から借りた農業用水汲み上げポンプを設置した様子



貸し出し用草刈り機の使用方法和整備は

Q 故障修理の経緯と、貸し出し期間、整備状況はどうなっているのか。

A 西本 産業建設部長

ため池のり面を草刈り中のり面形状変更箇所を走行した際、滑落した。貸し出しは1回7日以内で返却、使用簿に基づき清掃、燃料の補充、刈刃の状態の点検をしているが、エンジンの始動が悪い、刃が欠けて切れ味が悪いなどの指摘を受けている。快適に利用いただくために点検整備の日程を確保できるよう貸し出し期間を調整していきたい。



利用が多い貸し出し用草刈り機

Uターンを増やすための対策は

Q 旧佐伯町ではUターンの補助金があったがそうしたことはしないか。

A 清水 まち経営課長

他市町にも導入事例があり、必要な情報を収集し可能性について検討を進めていきたい。



『好適環境水』の推進を

A

事業化を
検討している

動画はこちら



神崎良一 議員

Q

- ①『好適環境水』の事業を積極的に推進していくのか。
- ②推進していく場合のスケジュールはどうなっているのか。
- ③産業振興施設整備事業との関係はどのようになっているのか。

A 太田町長

- ①岡山理科大学の関係者と協議も行っており、旧山田小学校の施設も視察頂いた。今後も積極的に推進する立場で取り組んでいく。
- ②庁舎内で関係する部署の連携体制を構築している。順次スピード感を持って進めていく。
- ③産業振興施設は岩戸地区周辺を含む佐伯地域の振興の拠点であり、様々な事業展開を考えている。その一つとして『好適環境水』を活用して養殖した魚をその産業振興施設で販売し、和気鵜飼谷温泉で食事として提供する。ふるさと納税の返礼品としての活用も想定をしている。産業振興施設に来場のお客様に『好適環境水』による陸上養殖の様子を見てもらい、夢と希望の湧く関係性が展望できるよう産業振興施設の整備と同時進行で『好適環境水』事業も取り組んでいく。

※好適環境水

淡水魚と海水魚が共生できる岡山理科大学が開発した人工飼育水。



今後の活用が期待される旧山田小学校

『アクアポニックス』の推進を

A 太田町長

- ①『アクアポニックス』については、東岡山工業高等学校で実証視察をした。研究を深めていきたい。
- ②『好適環境水』を活用した養殖事業が前進した後に、『アクアポニックス』の展開を想定している。『好適環境水』への取り組みとともに、調査研究を進めていく。
- ③現在進めている産業振興施設の概要について国から認可、交付金の決定を頂いた。実施設計費はその上で予算計上をしているので、施設の在り方そのものの変更はできない。ただし産業振興施設の形状や内容については、実施設計をする段階で様々な意見を伺い、議会・住民と協力し合いながら進めていく。

※アクアポニックス

水産養殖と水耕栽培を組み合わせ、魚の排泄物由来の栄養を植物の成長に活用する循環型農法。

- ①積極的に推進していくのか。
- ②推進していく場合の具体的なスケジュールはどうなるのか。
- ③産業振興施設を『アクアポニックス』の新しい事業の情報発信の拠点にするという考えはどうか。



教育費助成の強化を

Q 岡山市方面の高校へ通学する生徒の割合が増えている。玉野市や総社市へ通学する場合もある。授業料は来年度から補助金が45万7,000円増額で無償化がほぼ実現する。奈義町では高校の修学支援金という形で年間24万円(月額2万円)の支援制度があり、通学費用等が出せると思う。

町の奨学金は無利子貸し付けで高校が月額1万2,000円、大学が月額3万円。現在国立大学の年間授業料が53万円余りだから月額3万円では年間36万円で授業料も払えない。月額5万円で返済の必要のない給付制にできないか。

A 新田 教育次長

通学費の補助は町として独自に実施する考えはない。理由としては国の授業料無償化の取り組みがある。町としては地域にある和気閑谷高校の魅力化に力を入れて子どもたちが地元で学んで地域に誇りをもって育つ環境づくりに取り組んでいるところである。施策の整合性を考えると個別の通学費助成には踏み出せない。

町の奨学金を給付制にして月額5万円にということは財政的な制約や制度の持続という観点から導入は考えていない。



町内の企業誘致を急ぐべきでは

Q 矢田の工業用地については令和3年5月に完成し、令和4年9月に売買契約を行い、5年秋ごろから工事にかかり本年4月には操業できる予定だったのではないかと聞いている。

そもそも経過を振り返ると赤磐市松木の造成した工業用地が購入できなかったので次善の策で矢田の工業団地に決定して和気町に申し入れがあった。企業立地選定委員会へ5月末に諮り全会一致で選定をして売買契約に至った。遅れの原因ははっきりとはわからないが、町の振興発展という点で、今の山田地区の産業施設の問題も含めて大変憂慮しているものである。

40年以上前に旧佐伯町では会社が購入後、途中でキャンセルになり別会社を誘致したことがあった。あながちそういうことがないとはいえない。現在の情報も含めてわかっていることを教えてほしい。

A 清水 まち経営課長

昨年の9月末に企業側から2年間の工事着工延期願いの提出があり、今に至る。契約書では議会の議決を経て3年以内に操業開始しなければならないとなっている。契約から10年以内なら買戻しができるように特約を設けており、契約上は勝手に売却することや、用途の変更などができないことになっている。現時点では猶予期間が1年4か月残っており、町としては引き続き企業側と連絡を取りながら早期着工を促していきたい。



早期操業が待たれている矢田工業団地

A

導入は考えていない

動画はこちら



西中 純一 議員





表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月（1、4、7、10月）にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

今月の表紙

「はっけよーいのこった」



一部加工・トリミングして掲載しています。

みずひきだに じんじゅ

撮影場所：水行谷神社(大中山)

撮影者：議会広報編集委員会

コメント：秋祭りで子ども相撲が行われました。

勝ったり、負けたり、笑いあり、涙ありで、大いに盛り上がりました。

編集後記

実りの秋を迎え皆さま健やかに
お過ごしのことと存じます。

今年の夏は異常気象により猛暑
が続き熱中症にかかり体調を崩さ
れたのではと拝察いたします。

さて、今回の中高校生による模
擬議会の特集はいかがでしたか。

9月定例会は令和6年度の決
算認定、条例改正、本年度の補
正予算などを審議してまいりま
した。

厳しさを増す財政事情の下、本
町の持続的発展を目指し、皆さま
の付託に応えてまいります。今後
とも町民の皆さまのご意見をお寄
せください。

(居樹 豊)



和気町議会だより 第78号 令和7年10月24日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/>



和気町議会
ホームページはこちら！

和気町議会 検索